

令和6年度全国学力・学習状況調査結果 府中市立浅間中学校

【調査の概要】 調査日時：令和6年4月18日（木）、調査対象：中学校第3学年、調査方式：悉皆調査
調査事項：生徒に対する調査（ア：教科に関する調査〈国語、数学〉・イ：質問紙調査）

学力調査の結果

1 平均正答率(%)及び中央値(問)

中央値とは、統計的な指標の一つで、一人一人の正答数を大きい順に並べたときの、全体の中央に位置する値のことです。

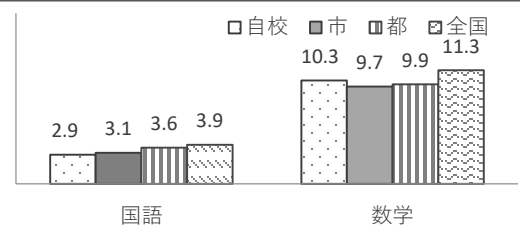
	国語(14問)		数学(16問)	
	平均正答率(%)	中央値(問)	平均正答率(%)	中央値(問)
自校	64.0	10.0	58.0	10.0
府中市	62.0	10.0	57.0	9.0
東京都	61.0	9.0	57.0	9.0
全国	58.1	9.0	52.5	8.0

○平均正答率は、国語では全国・東京都を上回りました。数学でも全国・東京都を上回りました。

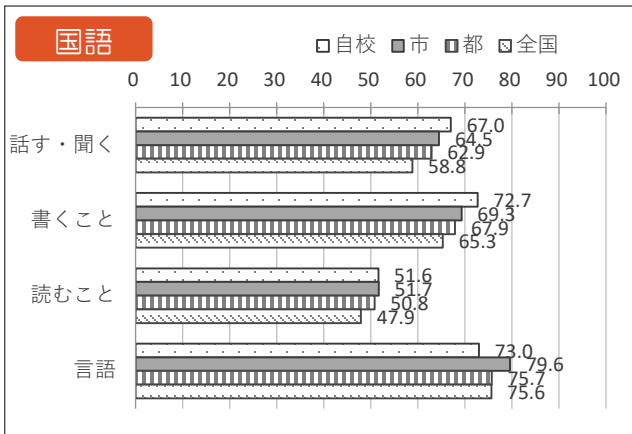
○中央値は、国語では全国・東京都を上回りました。数学でも全国・東京都を上回りました。

調査結果は、生徒が「どのような力を伸ばしているか」、「どのような力を十分伸ばせていないか」という具体的な成果と課題に着目し、生徒への教育指導の充実や学習状況の改善、授業改善に役立てます。

2 各教科の無解答率(%) (全設問の無解答率の平均値)



3 学習指導要領の領域別正答率(%)



4 成果や課題があった主な設問

国語

○3二：物語の下書きについて、文の中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する。

正答率 自校 66.5% 都 58.0% 全国 53.8%

△2一：本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する。

正答率 自校 34.6% 都 39.1% 全国 36.3%

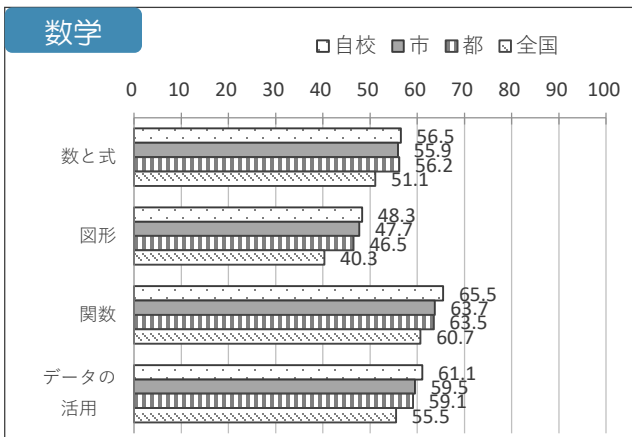
数学

○6（1）：問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができること

正答率 自校 94.1% 都 92.1% 全国 90.2%

△8（2）：事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

正答率 自校 27.0% 都 20.5% 全国 17.1%



5 学力調査の結果についての成果と課題

○成果

国語では「言語」を除く領域で、数学ではすべての領域で全国・東京都の正答率を上回っており、道筋立てて自分の考えを導く姿勢が向上していると思われる。

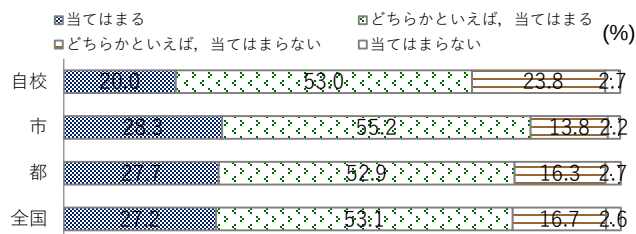
△課題

国語・数学ともに文章読解力の向上が必要とされる。そのために、自らの言葉で考え方を説明する活動や、基礎・基本を定着させるための学習を繰り返し行っていく。

質問紙調査の結果

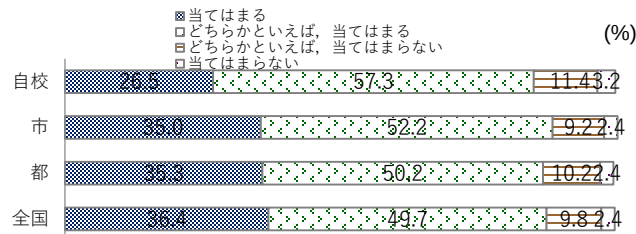
主体的・対話的で深い学びの視点から

【30】 1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



課題の解決に向けて、自ら考え、取り組もうとしている生徒の割合に、やや課題が見られます。

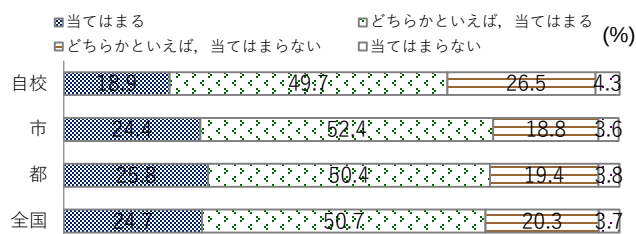
【33】 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



話し合い活動を通じて自らの考えを深め、広げようとしている生徒の割合は、高い傾向にあります。

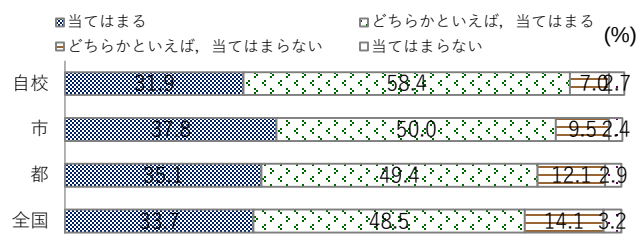
思考力・判断力・表現力の育成の視点から

【31】 1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか



各教科で学んだことを活用しようとする生徒の割合に、やや課題が見られます。

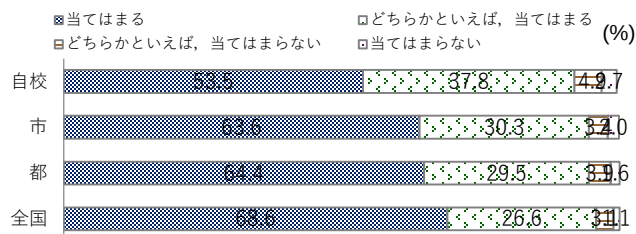
【38】 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



自ら課題を立て、進んで探究的な学習に取り組もうとする生徒の割合は、高い傾向にあります。

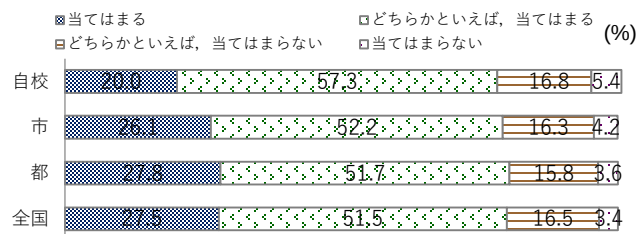
自己有用感、地域・社会との関わりの視点から

【15】 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



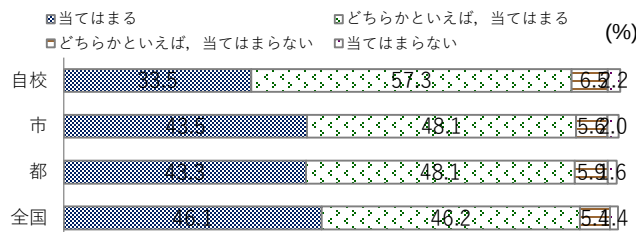
人の役に立ちたいと思う生徒の割合は、高い傾向にあります。

【35】 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか



学びが様々な場面で結びつき、生かすことができると思う生徒の割合に、やや課題が見られます。

【37】 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしたい、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



他者の考えを尊重し、協力して課題に取り組める生徒の割合は、高い傾向にあります。

今後の取組について

〈学校での取組〉

課題の解決に向けて主体的に取り組み、話し合い活動を通じて他者の意見を取り入れながら、自分の考えを深め広げられるように、授業改善に取り組めます。

〈家庭での取組についてお願い〉

思考力、判断力、表現力等を高めるには、継続的な反復練習による基礎・基本の定着が必要です。計画的な家庭学習の習慣が身に付けられるよう、お子様へお声掛けください。